SSKP はれのちくもり

棕 櫚 亭 通 信 56号

◆ 平成 20 年度 厚生労働省 社会福祉推進事業の研究報告 ◆

さる9月12日(土)、一橋大学東キャンパス(定員150名)において、就労支援に関するセミナーを開催しました。これだけの大きな規模で棕櫚亭が就労支援のセミナーを行うのは久しぶりの事でしたが、申し込みが殺到し、当日は定員120名を超す方々にお越しいただき、盛況のうちに終了しました。

さて今回のセミナーがどの様なものであったかと言いますと、「精神障害者の雇用を成功させるために」を大きなテーマに掲げて、1部では平成20年度厚生労働省社会福祉推進事業の報告会、2部では「精神障害者が働きやすい職場とは?」をテーマにした企業、有識者による講演会という構成で行いました。

★厚生労働省社会福祉推進事業とは・・・

厚生労働省が障害者支援等のノウハウ構築の為に、民間法人等に研究を受託し取り組む事業のことです。 ちなみに棕櫚亭では平成19年度も同事業を受託し、「精神障害者就労支援チェックリスト」についての 研究を行いました。われわれスタッフはこの取り組みの事を、通称「調査研究」と呼んでいます。

今回報告した調査研究は、昨年秋から半年をかけて、オープナー・ピアス・トゥリニテのスタッフが中心となり取り組んできたものです。研究の過程では、仕事が終わってからの時間を使い、ワーキング形式で 2 グループに分かれ、議論が夜遅くまでにおよぶことも多くありました。行ったアンケート調査や訪問調査から得たデータは膨大なもので、これをまとめていくのは大変な事ではありました。しかし、ご協力いただいた企業や就労支援機関のご厚意を無駄にしない様にと、皆で一丸となって取り組みました。結果、就労支援チェックリストを活用するための「運用マニュアル」や、企業が安心して障害者雇用に取り組むための支援ツール「紹介シート」と「仕事を続けるための面談シート」3つの成果物の作成に至りました。

研修当日は、3名のスタッフが熱い思いを込めて研究報告をしました。ご出席いただいた皆様からは「ぜひシートを使ってみたい!」との反響が多く寄せられ、われわれスタッフも「やってよかった!」と思えた瞬間でした。

一方 2 部では、精神障害をお持ちの方を積極的に雇用している株式会社トーメンエレク

トロニクスの岩村康司氏の講演でスタートしました。

過去 6 年間で障害者雇用の離職者が出ていないというトーメンエレクトロニクス商品管理 センターですが、「雇用率に関して企業は罰則・ペナルティーなどが課されているが、ポジ ティブな施策がないため現場は誇りや意欲を削がれてしまう。障害者雇用に力を入れてい る優良企業には企業名の公表など、よりポジティブな施策を期待したい。」という重要な問 題提起がされました。締め付けられるだけの施策で、本当に障害者雇用は進むのか・・・ 大いに考えさせられるお言葉でした。

お二人目の講師は 精神障害を雇用する企業のサポートを数多く行っている秦コンサルティングオフィス代表 秦 政(はたまこと)氏です。少子・高齢化などによる社会構造の変化、大不況という昨今の雇用情勢、法改正や労働行政の動きといったトータルな視点から、企業が精神障害者雇用についてどう取り組むべきかというお話をいただきました。「ひとりの精神障害者の入社は会社全体のメンタルヘルスを促進する効果を生む!」という秦さんの力強い言葉はわれわれにとっても勇気付けられる言葉でした。

企業や福祉、公的機関という立場を越えて、このような研究事業にともに取り組み、セミナーを開催できたことは棕櫚亭にとっても貴重な経験となりました。「精神障害をお持ちの方の雇用を成功させよう!」という思いは皆同じなのです。

棕櫚亭の熱いスピリットを感じた!」~ある一枚のアンケートの感想に書かれていた言葉です~各方面から、熱いエールをいただくと同時に、期待も託されているようにも感じています。ここで立ち止まることなく、さらに発信・推進・提言を!棕櫚亭 らしく熱い思いをもって頑張ってまいりたいと思います。

※平成20年度の研究に関して、詳しくは棕櫚亭ホームページでご紹介していますので ぜひ御覧下さい。報告書や開発したシートのダウンロードも可能です。

◆ 現場からの報告 ◆

棕櫚亭Ⅱ <小規模通所授産施設>

前回号では、棕櫚亭Ⅱの21年度いっぱいでの事業廃止決定についてお伝えさせていただきました。特に作業所時代から応援して下さっている会員の皆さまの中には、驚かれた方も多かったと思います。今回号では、その後の現場の様子をお伝えします。

I では、メンバー・ご家族へのご報告の後、早速 7 月には個別面談が始まりました。一方で、8 月は夏休みがあったこともあり、全体的には皆でのんびりとした月をすごしました。休み明けの 8 月 21 日には、II の場所を使っての"バーベキュー納涼会"を皆で楽しみ、ほっと一息ついたという感じです。また、暑さが少し和らいできた9月に入ってからは、本格的に他施設見学や実習が始ま

っています。できるだけご本人にとって合った通所先が見つけられるようにと、ほとんどの方が複数の施設を見学している状況です。

メンバーにとっても職員にとっても、この秋が一番のヤマ場になってきています。特にメンバーは、緊張や不安も抱えながら、日々のIIでの活動や施設見学を頑張っている状況です。一人一人が自分の生活にとって今後必要なものは何なのかを、丁寧に振り返りをしながらすすめています。

いろいろな場面を通じて、心配なこともなるべく出しあうようにしているので、今のところ大きく体調を崩す方も出てきていませんが、今後も一人一人の体調や状況に合わせながら、残り半年の支援を続けていく予定ですので、どうぞよろしくおねがいします。

棕櫚亭I <地域活動支援センター>

棕櫚亭 I は今年の4月1日より、これまでの共同作業所から、障害者自立支援法の中の 地域活動支援センター II 型に移行しました。

作業所時代の活動内容と大きな変化はありませんが、同じ地域活動支援センターI型のなびいが、主に相談支援をしているのに対して、通所を意識した生活支援を中心にしています。午前中は作業ユニットを行ない、午後は各種プログラムを実施しています。安定して通所する事を通して、仲間とのコミュニケーション力を育んだり、生活のリズムを整えたりしながら、自信を回復していくことを目指しています。又、ホームヘルプや権利擁護・訪問看護などのサービスを利用している方も多いので、なびいと連携しながらの生活支援を進めています。

今年度は新しいプログラムとして、ルーテル学院大学の福島先生を中心とした研究に協力する形で「<u>IMRプログラム</u>」を取り入れました。あらかじめ希望した6名の方とスタッフ1名で、テーマに沿ったワークシートを使用しながら、月3回のペースでこれまでに15回実施しました。

参加された皆さんからは、「他の人の話が沢山聞けて参考になった」「一人では続かないが、グループでやることで続いている」「これまでの知識を整理したり、新しい情報を得られた」「プログラムとして流れができているので、短期間に色々なことが吸収できる」等の前向きな感想が寄せられています。今年限りのプログラムにせず、Iのプログラムとして来年度以降も何らかの形で取り入れられたらとスタッフとしては考えているところです。

IMRプログラム (リカバリーと病気の自己管理プログラム)とは…

リカバリーと病気の自己管理について重要とされる9つのテーマ(リカバリー目標の設定・服薬管理・ストレス対処法・再発防止等)について、効果があると実証された複数の技法を組み合わせて、精神疾患を持った方が総合的に取り組むプログラムです。

◆ 棕櫚亭グループ お知らせとスケジュール ◆

☆ CSKグループより社会貢献費の寄付をいただきました ☆

7月28日(火) CSKグループより社会貢献費の寄付をいただきました。

CSKグループは長年、障害者雇用促進のために尽力している情報サービス企業の大手です。グループ内には、特例子会社として東京グリーンシステムズ(以下、TGS)が多摩市にあります。同じ多摩地域ということで、長くお付き合いをさせていただいています。同グループでは社会貢献活動の一環として、TGSで販売している胡蝶蘭の売り上げの一部を社会貢献費として、NPO・社会福祉法人に50万円ずつ寄付をしています。そして今回、私たち棕櫚亭の取り組みを大変評価して頂きました。

このような大きな企業から棕櫚亭の活動を認められることは大変名誉なことであり、私たちの仕事にも大きな励みになります。

こうした企業との出会いやつながりは、私たちにとっても社会に向けて開かれる良い機会になります。これからも引き続き、施設内の見学や訪問を積極的に受け入れていくことで、 棕櫚亭の掲げる「発信・提言・推進」を進めていきたいと思います。

☆ 秋のスケジュール ☆

くオープナー〉 くトゥリニテ (①のみ) >

- ① 精神障害者の雇用促進・定着の為のネットワーク会議 日時 11月27日(金)時間未定 場所 せきやホール
- ② 職業リハビリテーション研究発表会(分科会にて門脇発表) 日時 12月3日(木)9時開始 場所 幕張メッセ
- ③ うつと神経症圏についての学習会日時 12月16日(水)時間未定場所 ピアス2F

<棕櫚亭I>

第38回くにたち秋の市民まつり

に出店します!

日時 11月3日(祝) 9時30分開始

場所 くにたち大学通り沿い "美味しいポップコーンを作っていますので、皆様ぜひ遊びに来て下さい!!"

【編集】 国立市富士見台 1-17-4ピアス内 はれのちくもり編集委員会 Tel 042-575-5911

【発行】 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

157-0073 世田谷区砧 6-26-21 Tel 03-3416-1698

【定価】100円